

GROHTHERM SMARTCONTROL 取扱説明書 (お客様用)

このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書は(付属の保証書)お読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

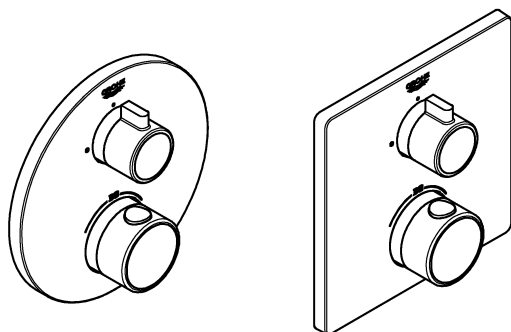
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

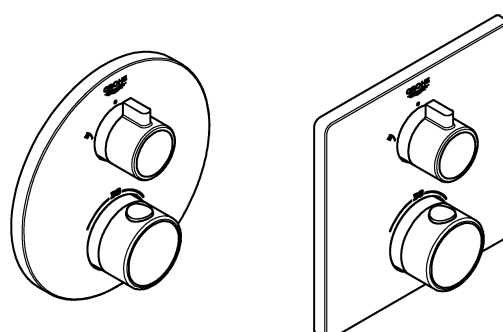
工事店さまへのお願い

この取扱説明書と、保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

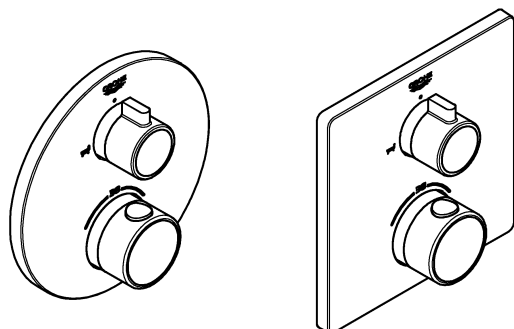
24075/24078 シャワー吐水口用



24076/24079 2方シャワー切替



24077/24080 バス・シャワー切替



安全上のご注意 2

各部の名称 4

ご使用前に 4

ご使用方法 5

冬期凍結の恐れがある場合 6

日常のお手入れ 6

定期的なお手入れ 7

修理を依頼される前に 7

定期的な部品交換 8

アフターサービスについて 8







安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

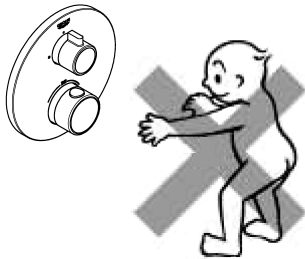
用語および記号の説明			
	警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」	
	注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」	
		「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)	
		「指示した場所に触れてはいけません！」	
			「分解してはいけません！」
			「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

警告: ヤケドをしないために



小さいお子さまだけの使用は避けてください。

禁止

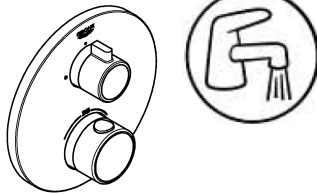


ヤケドやケガをする恐れがあります。



お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。

禁止

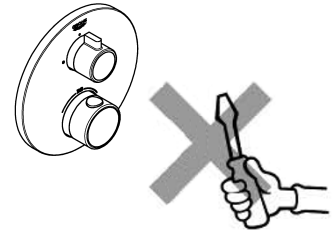


圧力変動がおり、湯音が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

分解禁止

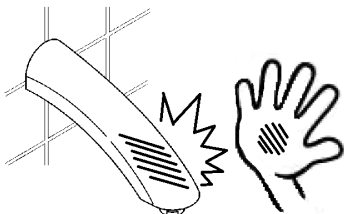


ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いのときは、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにして下さい。

禁止



ヤケドをする恐れがあります。



十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50 以上60度以下にしてください。

指示

水栓の機能が発揮しづらく破損し、家財を濡らす恐れがあります。また、誤作動によるヤケド防止のため、60 を超えない設定としてください。



給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

指示



給水圧力 = 給湯圧力

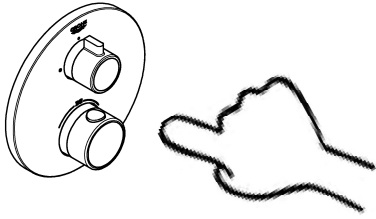
正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

⚠警告:ヤケドをしないために



温度調節ハンドルの温度表示で湯音を確かめた後、吐出してください。

指示

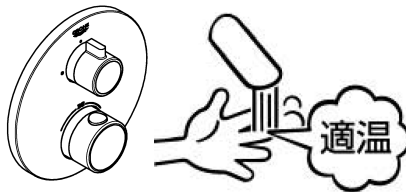


高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。

指示

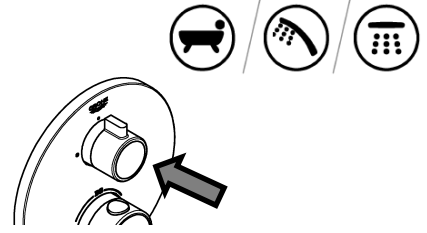


高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。
ご使用時は低温から少しずつ調節して、適温になるようにしてください。



お使いになる前に、吐水の位置を確認してからハンドルを回してください。

指示

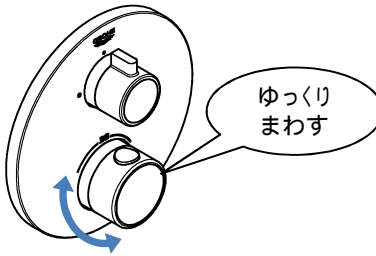


間違えるとヤケドをする恐れがあります。



温度調節ハンドルはゆっくり回して下さい。

指示



急に回すと温度が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、温度調節ハンドルを目盛り「38」以下に戻し、しばらく水を流してください。

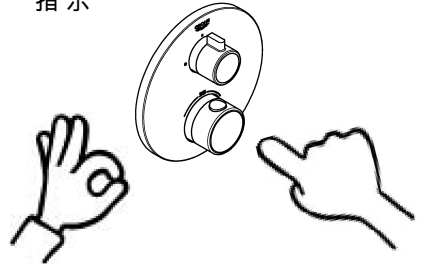
指示

次に使用するとき水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
次に使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。



定期的に漏水やガタツキが無いか確認して下さい。

指示



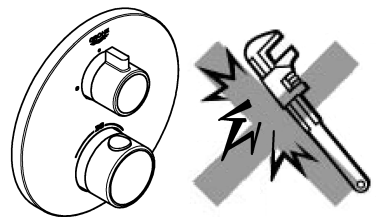
部材破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。

⚠注意:正しくお使いいただくために



製品に強い力や衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。

禁止

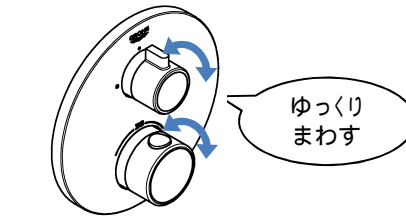


破損や漏水の原因となります。



切替ハンドル操作の急停止は配管からの漏水を起こすことがありますので、おやめください。

禁止

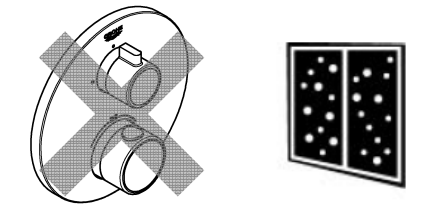


漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



凍結が予想される際は、この取扱説明書の「冬期凍結のおそれがある場合」に従ってください。

禁止

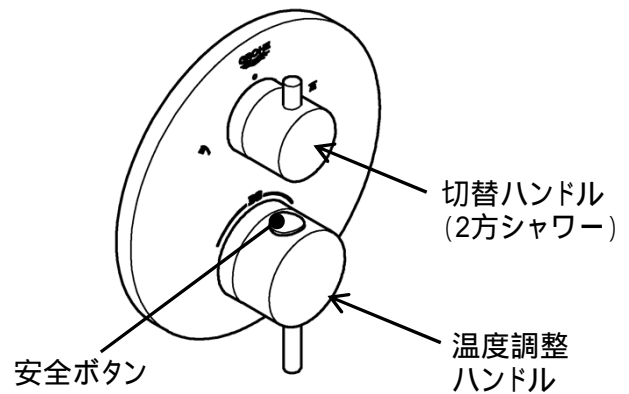
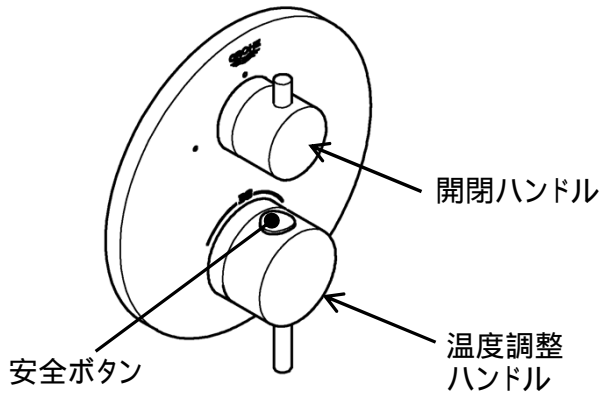


凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

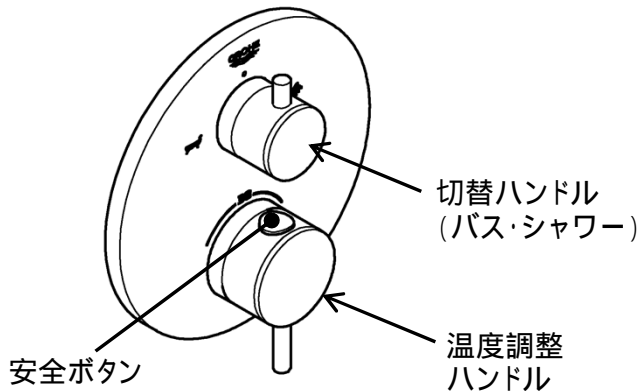
各部の名称

24075/24078 シャワー吐水口用

24076/24079 2方シャワー切替



24077/24080 バス・シャワー切替



ご使用前に

ピットスペース内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50 以上60 以下の設定をおすすめします。
ただしやけど防止のため、60 を超えない設定としてください。
給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズレて、表示通りの温度の湯が出なくなる場合がありますので注意してください。
流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
市販の節水シャワーと組み合わせる場合は、あらかじめ給湯器の作動流量をご確認の上ご使用ください。

開閉ハンドルの操作

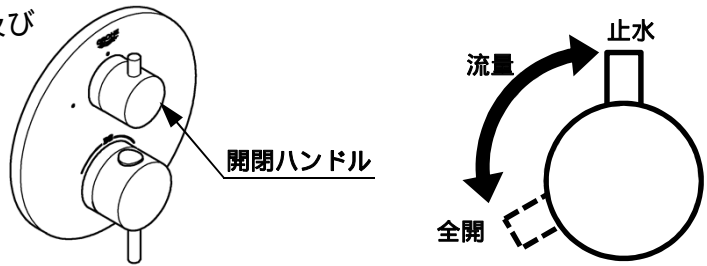
ハンドル操作は、回転を急激に行わないでください。
急激な操作をすると水栓または配管部で音が出たり、吐水温度が急激に変わります。
混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。
熱湯が吐出してヤケドする恐れがあります。

ご使用方法

開閉ハンドル(24075/24078)

開閉ハンドルを回すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

左に回して 吐出が始まります
右に回して 吐出が止まります
約120°で全開です



切替ハンドル(24076/24077/24079/24080 吐水切替タイプ)

切替ハンドルのレバーの操作により流量調整・吐水・止水操作できます。

【水(湯)を止める】

切替ハンドルのレバーを上を回します。

【水(湯)を出す】

(24076/24079 : シャワー切替タイプ)

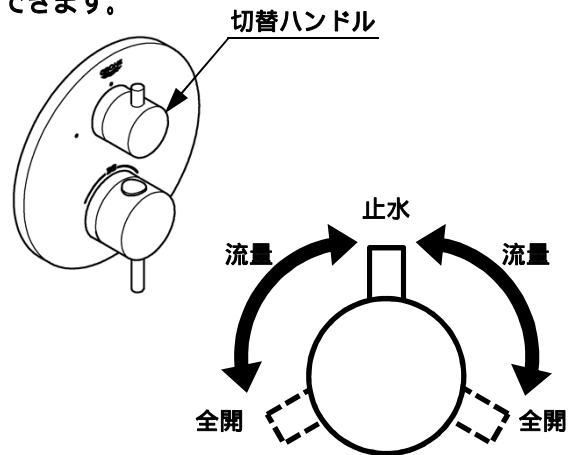
右に回す オーバーヘッドシャワーの吐水が始まります

左に回す ハンドシャワーの吐水が始まります

(24077/24080 : バス・シャワー切替タイプ)

右に回す ハンドシャワーの吐水が始まります

左に回す バスの吐水が始まります

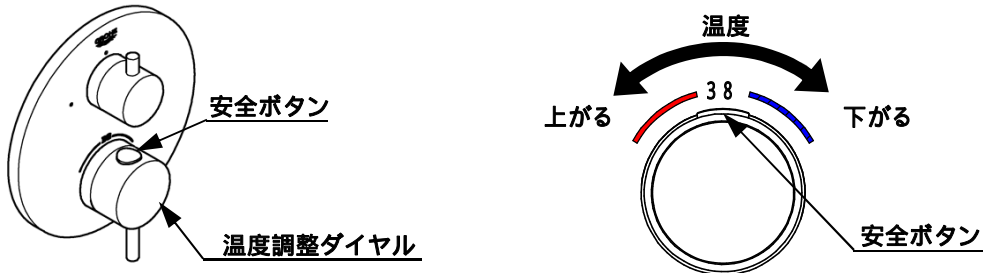


注意

開閉ハンドルはゆっくり操作して下さい。ハンドル操作の急停止は配管の損傷や水漏れの原因となります。

温度調節

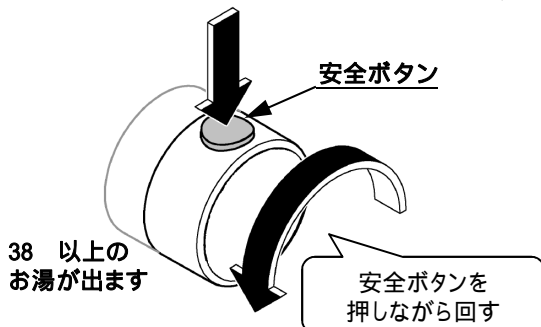
温度調整ハンドルの安全ボタンが真上にある状態が吐出温度38°の目安です。右方向に回すと吐出温度が下がり、左方向に回すと上がります。



高温を出す場合

温度調整ハンドルは38°付近でロックします。

安全ボタンを押しながら左に回すことにより、38°以上の高温をご使用いただけます。



注意

高温の使用後は、必ず温度調整ハンドルを38°以下に戻してください。ハンドルを右に回すと38°以下に戻ります。

冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
水栓から少量の水を流し放しにする。
水栓や配管部などに保温材を巻く。

日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。

そのあと水でぬらした柔らかい布でからぶきしてください。

メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

水栓のガタツキがないか確認してください。
配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ガタツキのある場合は、グローエサービスセンター(P8)へご相談ください。

めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

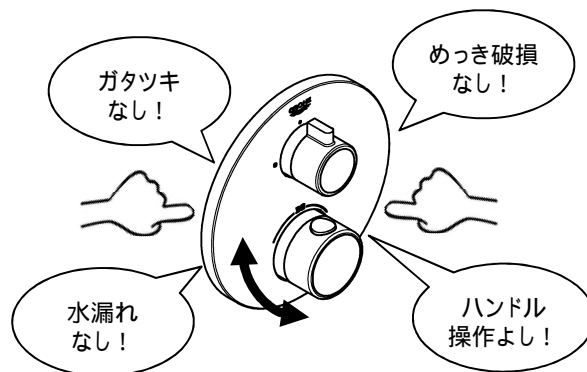
めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

水漏れ点検

水回りの水漏れがないか点検してください。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、グローエサービスセンター(P8)へ修理をご依頼ください。

温度調節ハンドルの操作性確認

温度調節ハンドルをときどき回してください。
温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。



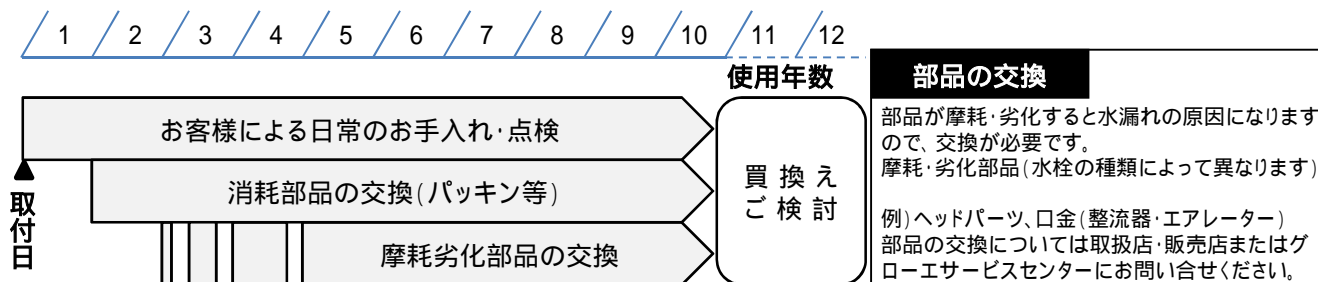
修理を依頼される前に

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
吐水量が少ない (少なくなってきた)	配管内のゴミが整流器、ストレーナにたまってきた。 給湯器の温度設定が不適切である。	(1)シャワーヘッド・吐水口のストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 「シャワーヘッド・吐水口の取扱説明書」をご参照ください。 (2)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
適温の温度調節がスムーズに出来ない	配管内のゴミが逆止弁・サーモスタートカートリッジにたまってきた。 給湯器から十分なお湯がきていない。 水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(1)上記同様、シャワーヘッド・吐水口のストレーナにゴミ詰りがないか確認してください。 (2)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (3)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 以下の方法で調整してください。 1. 温調ダイヤルを湯側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 温調ダイヤルを水側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側いっぱい位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
水の量が多すぎる 使用時に高い音がする	水の圧力(勢い)が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
完全に止水できない	内部アクアディマーにゴミが付着、または破損している。	販売店、取付工事店に連絡してアクアディマーを洗浄、または交換する。
シャワー、吐水の切り換えが完全にできない	内部アクアディマーにゴミが付着または破損している。	販売店、取付工事店に連絡してアクアディマーを洗浄、または交換する。
シャワーヘッドから止水後水滴が若干滴下する	シャワーヘッドの構造上発生することなので故障ではありません。	気になるようでしたらシャワーヘッドを振って、よく水を切ってからシャワーフックに納めてください。

上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、または当社サービスセンターへご相談ください。
上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

定期的な点検・部品交換のめやす



補修用品の供給期間

この製品の補修用品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
 なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエサービスセンターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

< 保証期間中は >

修理に際しては、保証書をご提示ください。

保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

< 保証期間が過ぎているときは >

修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

< 修理料金は >

“技術料” + “出張料” + “部品代”で構成されています。

< 連絡していただきたい内容 >

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
 0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)
 平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のお問合せのみ)

サーモスタット埋込混合栓

品質確認実施工場	グローエジャパン(株)検査試験室
認証登録番号	E-415
性能項目	耐圧性能 水撃限界性能 逆流防止性能
特記事項	浴室専用「飲用使用範囲外設置品」

本社 〒107-0061 東京都港区北青山2-11-3 A-PLACE青山6階
 TEL 03-5778-7500 FAX 03-5775-7611
 大阪営業所 〒541-0057 大阪市中央区北九宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階
 TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485
 GROHE JAPAN ホームページ
<http://www.grohe.com/jp>

グローエジャパン株式会社